MPLS アクセス リストの構成

- MPLS アクセス リストの構成 （1 ページ）
- MPLS アクセス リスト構成の検証 （2 ページ）
- MPLS アクセス リストの構成例 （2 ページ）

MPLS アクセス リストの構成

MPLS アクセス リストを使用すると、MPLS ラベルに基づいて MPLS パケットをフィルタリングし、フィルタリングされたパケットを構成済みのリダイレクトインターフェイスに送信できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的

ステップ 1	**configure terminal**
	例：
	`switch# configure terminal`
	`switch(config)#`
		グローバル設定モードを開始します。

ステップ 2	**[no]install feature-set mpls**
	例：
	`switch(config)# install feature-set mpls`
	`switch(config)# feature-set mpls`
	`switch(config)# feature mpls segment-routing`
		MPLS パケットの解析を有効にします。これは、MPLS ラベルに基づいて MPLS パケットをフィルタリングするために必須です。

ステップ 3	**mpls access list mpls-acl**
	例：
	`switch(config)# mpls access list mpls-acl`
	`switch(config-mpls-acl)# 10 permit mpls 1600 any redirect Ethernet1/15`
		着信外部 MPLS ラベルに基づくフィルタリングを使用して、mpls-access リストを構成します。
		この例では、着信ラベル 1600 と MPLS パケットが一致し、Ethernet1/15 にリダイレクトされます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	（任意） **copy running-config startup-config** 例： `switch(config)# copy running-config startup-config`	（任意）実行構成をスタートアップ構成にコピーします。

MPLS アクセス リスト構成の検証

MPLS アクセス リスト構成を表示するには、 の作業を実行します。

コマンド	目的
show mpls access lists	MPLS アクセス リストの情報を表示します。

MPLS アクセス リストの構成例

次の例は、MPLS アクセス リストを構成する方法を示しています。

```
switch# configure terminal
switch(config)# install feature-set mpls
switch(config)# feature-set mpls
switch(config)# feature mpls segment-routing
switch(config)# mpls access list mpls-acl
switch(config-mpls-acl)# 10 permit mpls 1600 any redirect Ethernet1/15
switch(config)# copy running-config startup-config
```

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。